

令和2年度コロナ禍における「生活困窮者・生活保護者」

宇奈月自立塾の受け入れ実績 報告 (全て富山県内の事例)

我々NPO 法人教育研究所ではリーマンショック以降約10年間生活保護者の支援を行ってきておりました「富山県生活保護者の居場所づくり事業」と言う事業です。

昨年3月に事業自体は終了となりましたが、今まで培ったノウハウや団体として行っている若年者の就労支援である「サポートステーション」事業。児童相談所措置の若者の自立支援として「自立援助ホームにいかわ」等、団体独自の強みを活かした上で昨年6月から「低額宿泊所にいかわ」を宇奈月自立塾の中に作り、生活困窮者や生活保護者の居住支援や自立に向けた支援を継続して行っております。

現在もコロナウイルスのまん延により、失業等様々なカタチで、生活困窮者や生活保護申請者が増えております。

令和2年度、我々NPO法人教育研究所が行ったコロナ禍における「生活困窮者。生活保護者」の支援実績を報告いたします。

今後の「生活困窮者・生活保護者」の支援に役立てれば…と、思っております。

特定非営利活動法人 教育研究所

黒部市宇奈月温泉 5509-16

理事長 牟田 光生

TEL0765-62-9681 Fax0765-62-1120

令和2年度コロナ禍における「生活困窮者・生活保護者」

宇奈月自立塾の受け入れ実績 (全て富山県内の事例)

入所者 17名 (援助ホーム・ニートひきこもり枠、除く)

年齢別	20代	1名	40代	7名
	30代	1名	60代以上	3名
	50代	5名		

年齢

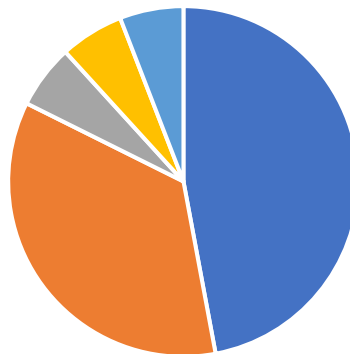


■ 20代 1名 ■ 30代 1名 ■ 40代 7名 ■ 50代 5名 ■ 60代以上3名

入所経路

各市役所	8件	社協	1件
生活困窮者支援センター	6件	厚生センター	1件
警察	1件		

入所経路

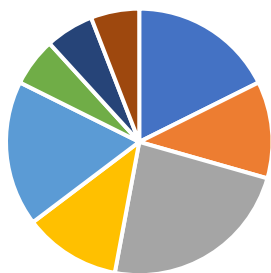


■ 各市役所 8件 ■ 生活困窮者支援センター 6件 ■ 社会福祉協議会 1件 ■ 厚生センター 1件 ■ 警察 1件

進路決定数（就職決定も）

現在宇奈月自立塾に住んでいる	3件（進路未決定）	アルバイト	2件
派遣社員	4件	住み込みの仕事	2件
アパート（居住支援）	3件	蒸発	1件
入院	1件	他施設	1件

進路決定数



- 現在宇奈月自立塾に住んでいる 3件
- 派遣社員 4件
- 居住支援 3件
- 入院 1件
- アルバイト 2件
- 住み込みの仕事 2件
- 蒸発 1件
- 他施設 1件

寮費未払い等（一時生活支援事業・生活保護等利用者以外）

逃げた（全額や一部払わず）	3件
自己負担	4件

精神疾患・発達障害率

知的疑い	2件	うつ病	1件
強迫性障害の疑い	1件	A S Dの疑い	1件
人格障害の疑い	1件	A D H Dの疑い	1件

* 17名中7名 約41%

病気の有無

肺気腫	1件
肺がん	1件
糖尿病	4件
睡眠時無呼吸症候群	1件

* 17名中7名 約41%

利用日数 (現在 (R 3 年 6 月末) 宇奈月自立塾に在籍している者を除く)

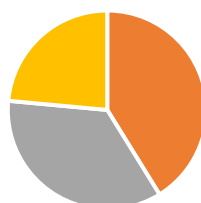
一カ月以内 6 人
三カ月以内 5 人
三か月程度 1 人

* 17 名中 12 名 約 70 %

直前の職歴 (直前 3 カ月)

正規職員 0 人
派遣社員 7 人
アルバイト・パート 6 人
無職 4 人

直前の職歴 (直前 3 カ月)

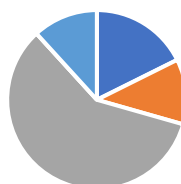


■ 正規職員 0 件 ■ 派遣社員 7 件 ■ アルバイト・パート 6 件 ■ 無職 4 件

学歴

中卒 3 件 高校中退 2 件
高校卒業 10 件 大学 (短大含む) 0 件
専門学校中退 0 件 専門学校卒業 2 件

学歴



■ 中卒 3 件 ■ 高校中退 2 件 ■ 高校卒業 10 件 ■ 大学・短大 ■ 専門学校卒業 2 件 ■ 専門学校中退

その他

未成年時代に児童養護施設出身 2 件
ひきこもり・不登校経験者 2 名

考察

* こういったコロナ禍のような特殊な状況（経済の悪化）に陥ると、非正規社員（派遣・アルバイト・パート）は仕事を削られ、収入が無くなり退職せざるを得ない状況にさらされる。正規職員と非正規の格差を感じる

* 40代50代が約7割を占める、就職氷河期世代だ。

* 学歴も大学（短大含む）が0人で17人中5名が高校中退や中卒約3割、中々キャリア形成の機会にも恵まれなかったと考えられる。学歴が低いと非正規になり、いざ、経済情勢が悪くなると簡単に解雇等の目に遭いますますます困窮していく様を感じ取られる。

* 17人中7人が何らかの精神疾患・発達障害系を持っているのではないかと推測される、仕事が続かない要因の一つに挙げられると考えられる、他にも肺気腫・肺がん・糖尿病等健康状態に課題を抱えている人も3分の1見受けられた。

* 17名中12名が3カ月程度内で何らかの行き先（蒸発や施設利用料を払わずに遁走含め）を見つけ、次へのスタートが切れたのは、我々としても社会的受け皿になれたと感じている。

* 児童養護施設出身者や不登校経験者が1割程度来られた。母数が少なくても何とも言えないが、一定数は存在すると考えられる

総括

低学歴・就職氷河期世代・困窮と健康（糖尿病等）・精神疾患・発達障害・

こういった大きく経済状況が悪くなると、社会保障システムの中から、どうしても漏れが出てくる人達が居る。

そういった人達もいつまでも人の（施設の）世話になる訳にも行かないと思い、約7割が3カ月程度で自立していく。（施設利用料を払わずに消えた人も居るが…）

今までの経歴からか、新しい進路もどうしても非正規や派遣業が多くなるが、本当は地域に根差した企業に結びついてもらいたいと、こちらは願っている。

ただ、発達障害や精神疾患等で、そのまま宇奈月自立塾に3カ月を超える人たちも居る。健康状態を良好にしなが、地域に根差した人材になってほしいと願っています。